



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年1月27日

上場会社名 株式会社富士通ビー・エス・シー 上場取引所 東
 コード番号 4793 URL <http://www.fujitsu.com/jp/group/bsc/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小島 基
 問合せ先責任者 (役職名) 広報IR室長 (氏名) 中村 昭生 TEL 03 (3570) 3481
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	23,085	1.0	△523	—	△509	—	△3,057	—
27年3月期第3四半期	22,862	△0.7	352	△19.6	272	△34.7	△22	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 △3,097百万円 (—%) 27年3月期第3四半期 △149百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	△259.08	—
27年3月期第3四半期	△1.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	21,112	14,287	67.3
27年3月期	25,380	17,703	69.3

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 14,218百万円 27年3月期 17,594百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	13.50	—	13.50	27.00
28年3月期	—	13.50	—		
28年3月期(予想)				13.50	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	32,400	2.9	0	△100.0	△40	—	△2,400	—	△203	39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規一社（社名）、除外一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P5「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	11,800,000株	27年3月期	11,800,000株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	542株	27年3月期	498株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	11,799,475株	27年3月期3Q	11,799,512株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成27年4月1日から同年12月31日まで、以下同じ）における国内経済は、中国を始めとする新興国等の景気減速懸念による先行き不透明感があるなか、企業収益の改善や政府による各種経済・金融政策等により、景気は緩やかな回復基調が維持される状況にありました。

情報サービス産業においては、良好な企業収益や将来を見据えた研究開発に対するニーズの高まりにより、持ち直しが期待される状況にありました。

このような状況のなかで当社グループは、多額の不採算プロジェクトが発生したことに鑑み、アシュアランスの一層の強化と社員の意識改革に努めてまいりました。受注段階からのリスク管理を強化しつつ、既存顧客の受注拡大や顧客ニーズに対応するソリューションサービスの提供等、確実な案件確保に努めました。

当第3四半期連結累計期間の売上高については、金融・官公庁・行政システムが順調に拡大した一方、社会基盤システム及びエンベデッドシステムが減少したことにより23,085百万円（前年同期比1.0%増）となり、概ね前年同期並みとなりました。

利益については、前述のとおりアシュアランスの強化を通じた確実なリスクコントロールを実施した結果、当第3四半期連結会計期間（平成27年10月1日から同年12月31日まで、以下同じ）では377百万円の営業利益を計上いたしました。その結果、当第3四半期連結累計期間の営業損失は523百万円（前年同期は352百万円の営業利益）まで圧縮することができました。

また、親会社株主に帰属する四半期純損失についても当第3四半期連結会計期間において196百万円改善し、当第3四半期連結累計期間では3,057百万円の損失（前年同期は22百万円の損失）となりました。なお、親会社株主に帰属する四半期純損失の主な要因は、当第2四半期連結累計期間（平成27年4月1日から同年9月30日まで）において繰延税金資産を取崩したことによるものです。

平成28年3月期連結業績（推移）

（単位：百万円）

	第2四半期累計期間 (H27/4/1~H27/9/30)	第3四半期会計期間 (H27/10/1~H27/12/31)	第3四半期累計期間 (H27/4/1~H27/12/31)
売上高	15,441	7,643	23,085
営業利益	△901	377	△523
経常利益	△892	382	△509
親会社株主に帰属する四半期純利益	△3,253	196	△3,057

第3四半期連結累計期間業績（前年同期比）

（単位：百万円）

	平成27年3月期		平成28年3月期		前年同期比	
	第3四半期累計	百分比	第3四半期累計	百分比	増減額	増減率
売上高	22,862	100.0%	23,085	100.0%	223	1.0%
営業利益	352	1.5%	△523	△2.3%	△876	-
経常利益	272	1.2%	△509	△2.2%	△782	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	△22	△0.1%	△3,057	△13.2%	△3,034	-

(事業区分別の売上高)

事業区分別の売上概況は以下のとおりです。

社会基盤システム分野では、電力会社向けシステム開発は拡大傾向にありましたが、メディア他の受注額が減少傾向にあることが影響し、売上高は7,369百万円（前年同期比4.9%減）と前年同期比で減少となりました。

産業・流通・ヘルスケアシステム分野では、製造業向けビジネス等が継続して堅調に推移したことにより、売上高は4,858百万円（同4.1%増）と前年同期比で増加となりました。

金融・官公庁・行政システム分野では、大手金融機関向けシステム開発を中心とした特需が影響したことにより、売上高は4,355百万円（同24.2%増）と前年同期を大幅に上回りました。

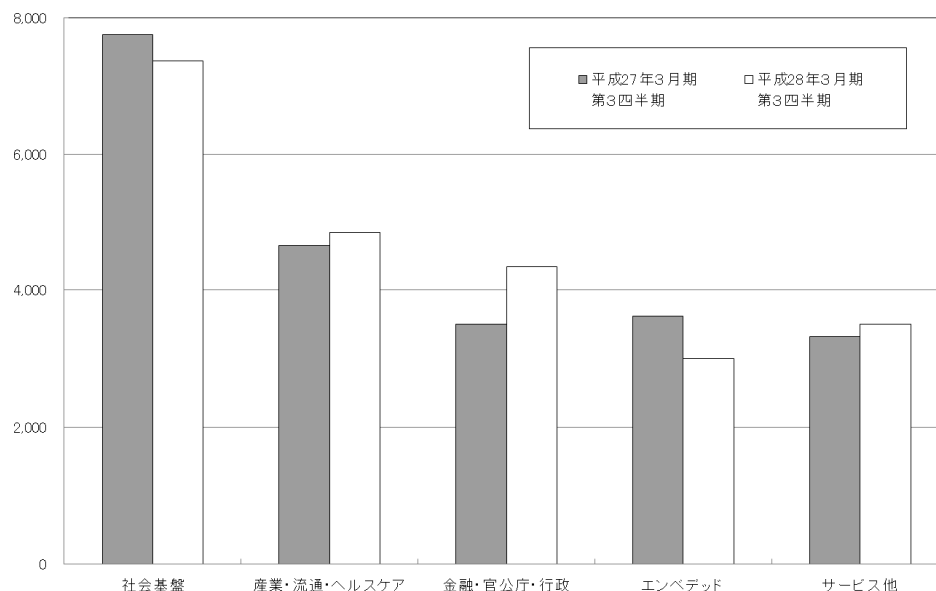
エンベデッドシステム分野では、医療機器開発商談は拡大しましたが、カーエレクトロニクス関連及びフォトイメージング関連を中心とした開発規模縮小の影響が継続したことにより、売上高は2,996百万円（同17.2%減）と前年同期を大幅に下回りました。

またサービス他の分野では、運用監視サービス等が好調に推移したことにより、売上高は3,504百万円（同5.7%増）と前年同期比で増加となりました。

※平成27年7月1日に実施した事業区分の見直しに伴い、平成27年3月期第3四半期の売上高を組み替えております。

売上高

(単位:百万円)



(単位:百万円)

	平成27年3月期 第3四半期累計	平成28年3月期 第3四半期累計	前年同期比	
			増減額	増減率
社会基盤システム	7,747	7,369	△377	△4.9%
産業・流通・ヘルスケアシステム	4,668	4,858	189	4.1%
金融・官公庁・行政システム	3,508	4,355	847	24.2%
エンベデッドシステム	3,621	2,996	△624	△17.2%
サービス他	3,317	3,504	187	5.7%
合計	22,862	23,085	223	1.0%

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、売掛債権や繰延税金資産の減少等により前連結会計年度末に比べ4,267百万円減少し、21,112百万円となりました。負債は852百万円減少し、6,824百万円となりました。純資産は3,415百万円減少し、14,287百万円となり自己資本比率は67.3%となりました。

また、当連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ438百万円増加し、8,722百万円となりました。当連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、835百万円の増加（前年同期は187百万円の減少）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の悪化や確定拠出年金の拠出があった一方、売上債権の回収が進んだことや法人税の還付があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、76百万円の減少（前年同期は153百万円の減少）となりました。これは主に固定資産の取得によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、319百万円の減少（前年同期は282百万円の減少）となりましたが、これは主に配当金の支払によるものです。

[キャッシュ・フローの状況]

(単位：百万円)

	平成27年3月期 第3四半期累計	平成28年3月期 第3四半期累計	前年同期比
営業キャッシュ・フロー	△187	835	1,023
投資キャッシュ・フロー	△153	△76	76
財務キャッシュ・フロー	△282	△319	△36
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,800	8,722	922

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年度3月期の通期連結業績予想については、平成27年10月27日に公表いたしました業績予想から変更いたしておりません。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	984	1,122
預け金	7,300	7,600
受取手形及び売掛金	10,068	8,293
たな卸資産	186	291
その他	1,484	955
貸倒引当金	△1	△6
流動資産合計	20,022	18,256
固定資産		
有形固定資産	1,902	1,853
無形固定資産	420	306
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	154	186
その他	2,879	509
投資その他の資産合計	3,034	695
固定資産合計	5,357	2,855
資産合計	25,380	21,112
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,323	2,359
役員賞与引当金	10	9
受注損失引当金	-	470
その他	4,138	3,246
流動負債合計	6,472	6,085
固定負債		
役員退職慰労引当金	104	111
資産除去債務	172	175
その他	926	452
固定負債合計	1,203	738
負債合計	7,676	6,824

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,970	1,970
資本剰余金	3,012	3,012
利益剰余金	12,589	9,213
自己株式	△0	△0
株主資本合計	17,571	14,195
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4	6
為替換算調整勘定	32	30
退職給付に係る調整累計額	△14	△13
その他の包括利益累計額合計	23	22
非支配株主持分	109	69
純資産合計	17,703	14,287
負債純資産合計	25,380	21,112

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
売上高	22,862	23,085
売上原価	20,095	20,583
売上総利益	2,766	2,502
販売費及び一般管理費	2,413	3,025
営業利益又は営業損失(△)	352	△523
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	13	7
保険事務手数料	6	6
その他	3	3
営業外収益合計	28	22
営業外費用		
支払利息	2	2
為替差損	14	2
清算関連費用	90	-
その他	1	3
営業外費用合計	108	8
経常利益又は経常損失(△)	272	△509
特別損失		
過年度決算訂正関連費用	174	-
特別損失合計	174	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	98	△509
法人税、住民税及び事業税	12	8
法人税等還付税額	-	△139
法人税等調整額	131	2,716
法人税等合計	144	2,584
四半期純損失(△)	△45	△3,094
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△23	△37
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△22	△3,057

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純損失(△)	△45	△3,094
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	1
為替換算調整勘定	0	△4
退職給付に係る調整額	△110	0
その他の包括利益合計	△103	△2
四半期包括利益	△149	△3,097
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△126	△3,057
非支配株主に係る四半期包括利益	△23	△39

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	98	△509
減価償却費	203	197
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△2	470
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	0	6
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△1	△0
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	-	△30
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△313	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	5
受取利息及び受取配当金	△18	△12
支払利息	2	2
売上債権の増減額(△は増加)	1,636	1,774
たな卸資産の増減額(△は増加)	362	△107
仕入債務の増減額(△は減少)	△448	74
長期未払金の増減額(△は減少)	△482	△474
その他	△930	△972
小計	105	424
利息及び配当金の受取額	18	12
利息の支払額	△2	△2
法人税等の支払額	△308	△2
法人税等の還付額	-	403
営業活動によるキャッシュ・フロー	△187	835
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△13	△27
無形固定資産の取得による支出	△139	△37
その他	△0	△12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△153	△76
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△308	△321
その他	26	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△282	△319
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△622	438
現金及び現金同等物の期首残高	8,422	8,284
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,800	8,722

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。